

1 道路などのゴミについて

ただいまの倉田結議員のご質問にお答え申し上げます。

「市では、町なかのごみを減らすためにどのような取り組みを行っているのですか？」についてですが、ごみを減らすために市が行っている対策としましては、3つのR、つまり「リデュース（ごみを減らしたり出さないようにすること）、リユース（ものを繰り返し使うこと。）、リサイクル（いらなくなったものを原材料にして、また同じものや他のものを作ること。）」の活動を進めていくということが、重要な取り組みであると考えております。

その中でも特に「リデュース」、つまり、ごみを出さない、ごみを減らすということを市民一人ひとりが考え、市民の皆さんが一丸となって取り組んでいただくために、市の広報誌やホームページで繰り返し広く呼びかけております。

また、自分の住む町を自分たちできれいにすることは、とても大切

なことです。市では、多くの市民の皆さんのご協力をいただき、春と秋に市内の一斉清掃として道路や河川などの環境美化に取り組んでいます。このように、市民の皆さん一人ひとりが自分の住む町をきれいにしようと考えていただければ、空き缶やペットボトルのポイ捨ては無くなるのではないかと考えています。

ご質問のように自動販売機にごみ箱を設置するという条例を作ることは、いろいろと難しいことがたくさんあるので、慎重に考えていかなければなりません。ジュースなどの飲み物を作る会社でも、「のんだあとはリサイクル」というマークを作り、ポイ捨て防止やまちをきれいにしようと呼びかけております。

このように、大人の人も一人ひとりのモラル、つまり道徳として、「ごみ箱がなかったら家に持ち帰る」、「空き缶等を捨てずにリサイクルする」、「自分たちの住むまちをきれいにする」ということを意識していただけるよう、これからも環境美化に取り組んでまいりたいと思いますので、倉田議員をはじめ、皆さんがそれぞれのご家庭でも町をきれいにしようとお話しをしていただけると大変ありがたいと思

います。

以上申し上げます、倉田結^{ゆい}議員のご質問に対する答弁とさせて

いただきます。